

PFAS(ピーファス)の健康への影響を明らかにする

PFAS血中濃度分析装置導入のための 募金のお願い

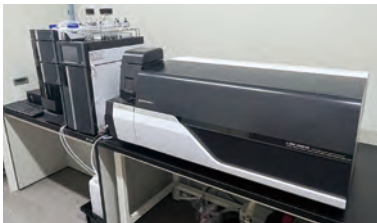
全国各地で、有機フッ素化合物・PFAS(ピーファス)による汚染が明らかになっています。PFASは、泡消火剤や精密機器の製造に用いられる物質で、分解されにくく、長く環境中に残り、土壌や地下水を汚染し、人体にも蓄積されます。昨年12月に、WHOの国際がん研究所(IARC)は、PFASの一種であるPFOAを「発がん性がある」物質に分類しました。

募集期間

2024年9月末まで

目標額

1億4千万円



PFAS血中濃度分析装置

人への影響を明らかにするためには、血中濃度分析が必要ですが、国内で実施できる検査機関はほとんどありません。

こうした中で、検査体制を確立するために、東京民医連加盟事業所の東京保健会・病体生理研究所でPFAS血中濃度の分析装置を導入し、2024年4月からの検査開始をめざしています。設備投資には1億4千万円が必要です。ぜひ、募金へのご協力をお願いします。

京都大学名誉教授

一般財団法人東京保健会
病体生理研究所 環境発がん研究センター長

小泉昭夫さんからの

期待の声

血液濃度分析で個人の体内蓄積量を正しく評価

PFAS汚染は水道水、食品、大気など多様な経路から体内に侵入します。PFASの健康影響を判断するためには、体内のPFAS蓄積量を知ることが基本となり、血中濃度は、体内蓄積量に比例するため測定が欠かせません。今回導入する機器は、米国で測定が推奨されているPFOS、PFOAを含む7種のPFASの血中濃度を米国標準法に基づき測定できる予定です。測定によりPFASを正しく恐れることができます。



※水質汚染が明らかになった地域毎に血液検査を実施していく計画です。検査実施数に限界があるため、募金に協力していただいた方、全員の検査ができないことにつきまして、あらかじめご理解をお願いします。

HPIについて

詳しくは東京民医連PFAS
特設ページをご覧ください



直接お振り込みいただく場合は団体一口5000円、個人一口1000円をお願いします。

募金振込先：みずほ銀行池袋西口支店 普通0028025
名義 東京民医連(トウキョウミンイレン)

最寄りの民医連事業所で受付できる場合があります。お問い合わせください。

問い合わせ

東京民主医療機関連合会PFAS対策プロジェクト担当：事務局次長 山根
TEL：03-5978-2741 E-mail：pfas@tokyominiren.gr.jp

募金を
願います

